

歴史地図映像の作り方

2010/3/25 大村 暢

この説明は、ご自身で歴史地図映像を作ってみたい人のための覚書です。歴史地図映像は WindowsXP パソコンとデジカメと根気があれば出来ます。(UGOKY のサイトにあるものとは違う、実写版の映像です)
*ある程度パソコンの操作が分かるという人を対象にしています

<大まかな流れ>

***年ごとにちょっとずつ変化する歴史地図を一枚一枚作り、写真に撮り、それらをまとめて映像化する**

- ①本や史料と想像力に従って、一年毎に一枚の絵（地図）を作る
- ②それをデジカメ写真に撮る
(×①と②を作りたい年数分だけ繰り返す)
- ③撮った写真のサイズを変更し、年代順にしてファイル名を揃える
- ④WindowsXP に付属しているムービーメーカーに写真を読み込み、時系列に並べて映像化 (×複数本)
- ⑤同じく Windows ムービーメーカーで、複数の映像を1つにまとめ、さらに音楽も読み込み、完成！！
⇒ 友だち、知人に見せたり、Youtube やニコニコ動画などに載せて一般公開

これ以降は各制作パートの詳細ですが、まずは一枚の絵（地図）だけを作って写真に撮り、ムービーメーカーに読み込んで、映像にするところまで一通りやってみてください。

実際に最後まで出来るかどうかという確認と、映像になったときの写真のイメージがよく分かると思います。また音楽はなくても映像として成立しますが、(絵に対する額縁のように) あれば格段に作品全体が良く見えるので、音楽を使うことを強くオススメします(映像が音楽の額縁になるかもしれませんが)。

それから今回提案するやり方は、①と②のパートを僕はパソコンのソフトで行ったため、実際にどうなるか不明です。あなたが第一人者です(笑) 上手くいった暁にはぜひ感想を教えてください。

<手順詳細>

①絵（地図）を作る（テーマと資料は既にあるという前提）

使うもの	色粘土、色画用紙、手描き、ビーズ、おはじき... などの、色分けのできる素材
手順	どの素材でもいいので、ある年の絵（地図）を作る（参考：歴史地図 2000）
ポイント	本や資料から得られない年代の地図に関しては、創造（想像）する たぶん、その創造（想像）作業が、全工程の中で一番時間を使うハズ 絵（地図）のサイズは、デジカメの接写できる距離で、画面いっぱいになる大きさ

②絵（地図）をデジカメで写真に撮る

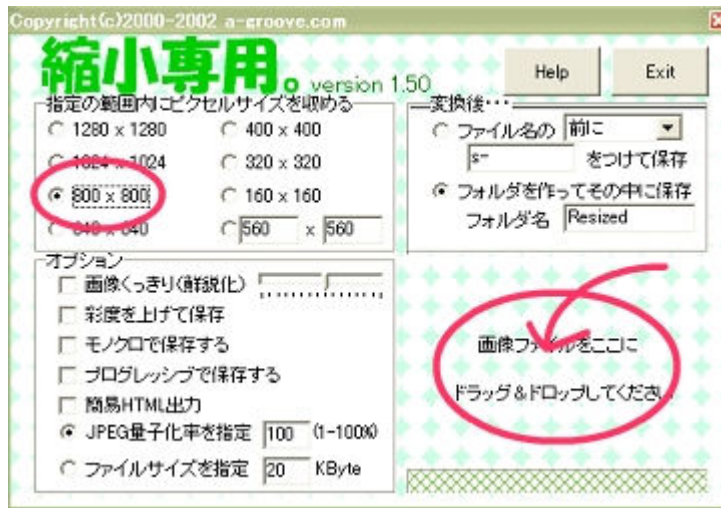
使うもの	デジカメ、①で作った絵（地図）
手順	作った絵（地図）を平らなところに置き、デジカメで撮影
ポイント	デジカメは等距離で毎回撮れるように、三脚または固定する台を使う 自然光よりも電灯の光を使うほうが色の変化が少なくなる 後で写真を修正するのは大変なので、撮る時に完璧な写真にすると総作業時間が減る 年号、国名等を映像に入れたい場合は、撮影時に絵（地図）の上に数字、国名等載せる

*この①～②の作業は、必要な写真の枚数が揃うまで、繰り返す

③デジカメ写真のサイズを一括変更し、ファイル名を年代順にする

使うもの パソコン、写真、サイズ変更ソフト「縮小専用」ファイル名一括変換ソフト「Namery」
 手順 デジカメ写真をパソコンに取り込む

- I - 「縮小専用」を立ち上げ、画像のサイズを適宜設定し、全写真をドラッグ&ドロップすると写真のサイズが一括で変更される（元ファイルは先にコピーして残しておく）



例) 長辺を 800px 以下にする

* 「縮小専用」 (<http://i-section.net/software/shukusen/>)

写真が年代順通りに撮られている場合は、ファイル名はそのまま使えるので④へ

- II - 写真が年代順になっていない場合は、ファイル名を変更

例) P0923.jpg(282 年用)と P0924.jpg(284 年用)の間に、P0957.jpg(283 年用)を挿入したい

★ファイル名を変更 : P0957.jpg → P09231.jpg すると並び順が以下のように

P0923.jpg(282 年用)、P09231.jpg(283 年用)、P0924.jpg(284 年用)

この状態で④の工程に進でも OK、もしファイル名を揃えたい場合は Namery を使う

* Namery (<http://www.remus.dti.ne.jp/~kuwa>) の使用法は割愛

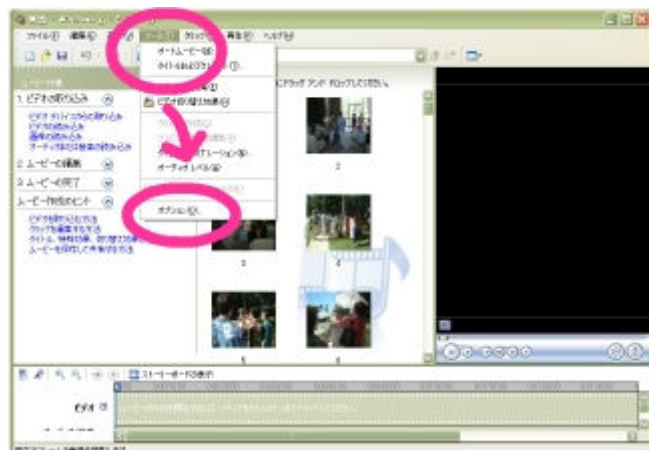
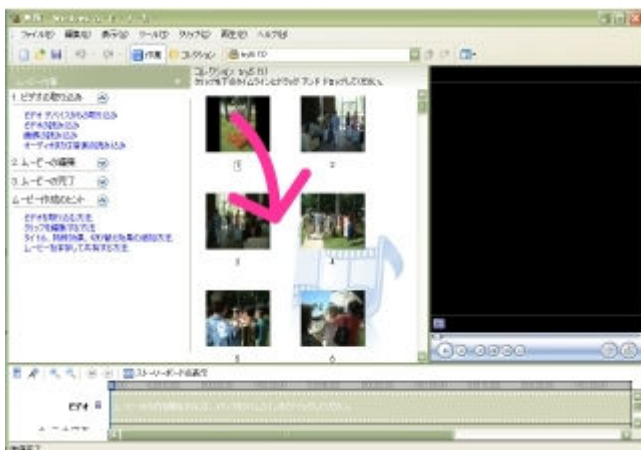
④ムービーメーカーに写真を取り込んで映像（複数）にする

使うもの  Windows ムービーメーカー

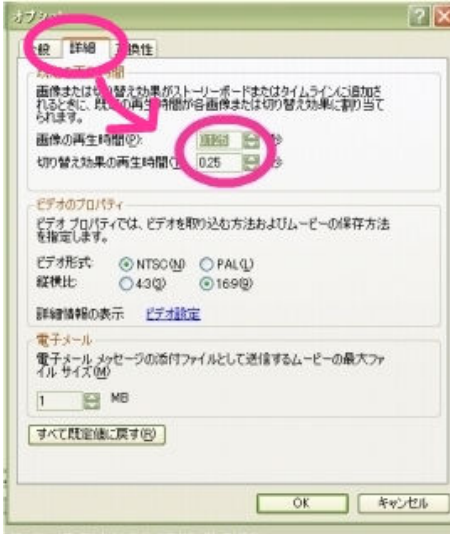
手順 (1)ムービーメーカーを立ち上げる

(2)写真を矢印の位置へドラッグ&ドロップ

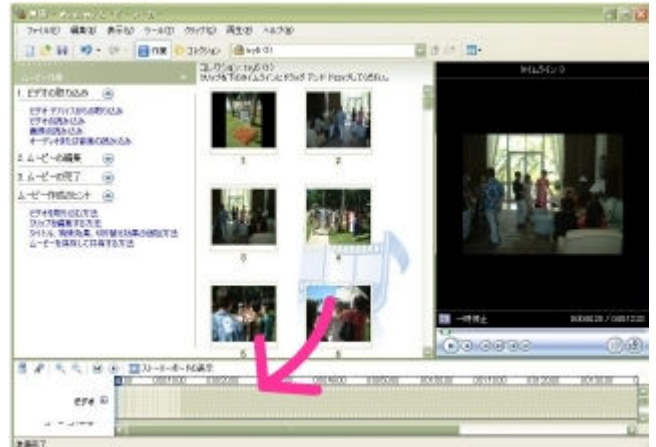
(3)「ツール」→「オプション」を選ぶ



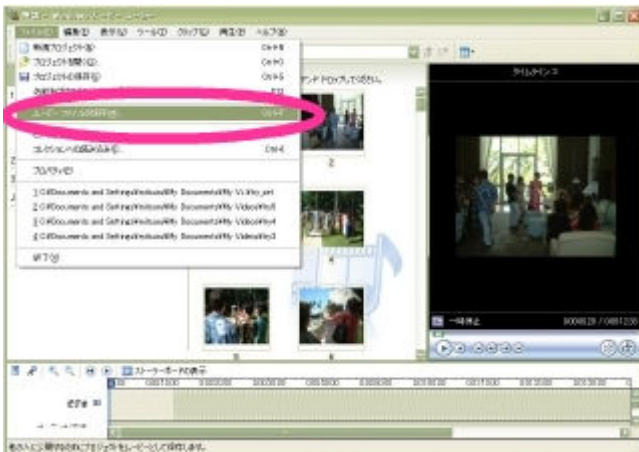
(4) 「詳細」のタグをクリックし、
 画像の再生時間 0.125 秒
 切り替え効果の再生時間 0.25 秒 に設定



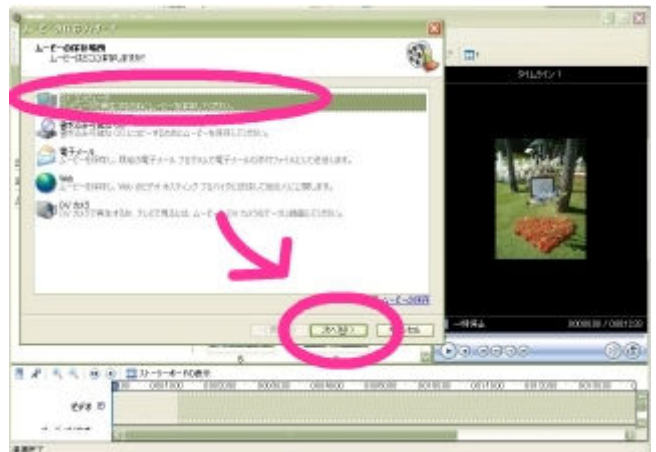
(5) 写真を選択し、下のタイムラインにドラッグ&
 ドロップ (名前順にタイムラインに並ぶ)
 *100 枚ごとがオススメ 理由は後述



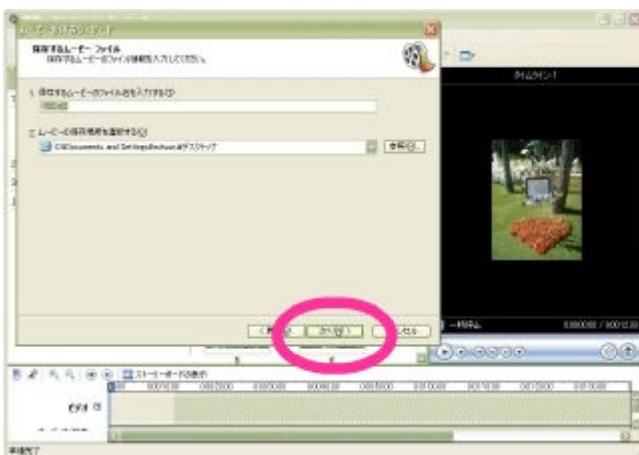
(6) 「ファイル」→「ムービーファイルの保存」



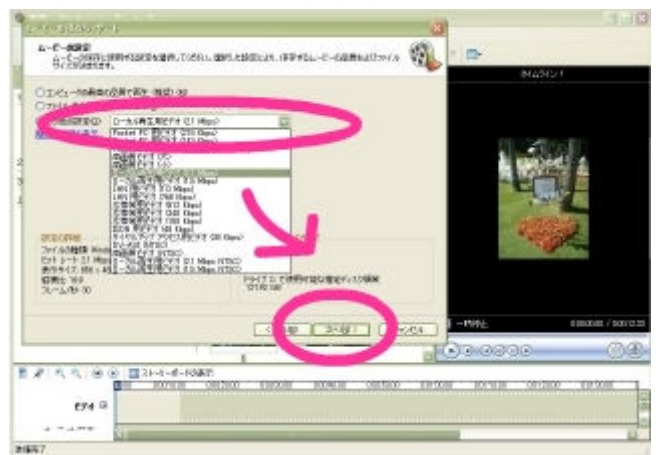
(7) 「マイコンピュータ」に保存



(8) 保存する名前は適宜決めて次へ



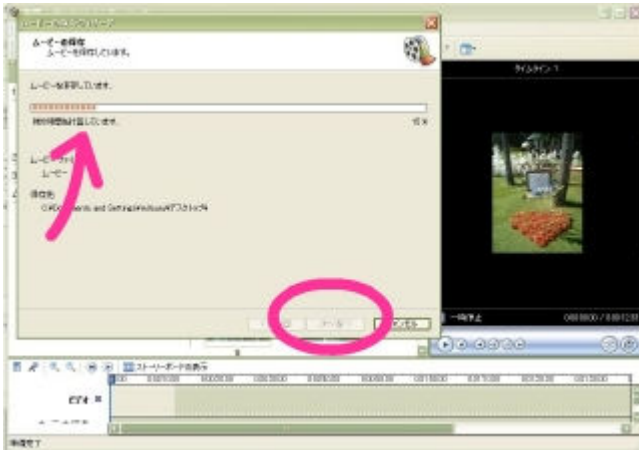
(9) 「その他の設定」で品質を選ぶ 例) 2.1Mbps



ポイント

(5)で 100 枚ごとの映像に分けて作るのは、ムービーメーカーとパソコンの能力によるフリーズを避けるため
 画面変化の速度調節は、(4)の画像表示時間の設定を変更

(10)パソコンによって、ここでフリーズすること多し
早ければ数秒～数十秒で完了、二分以上かかって
たらフリーズかも



(11)映像の計算（レンダリング）が終わったら試写

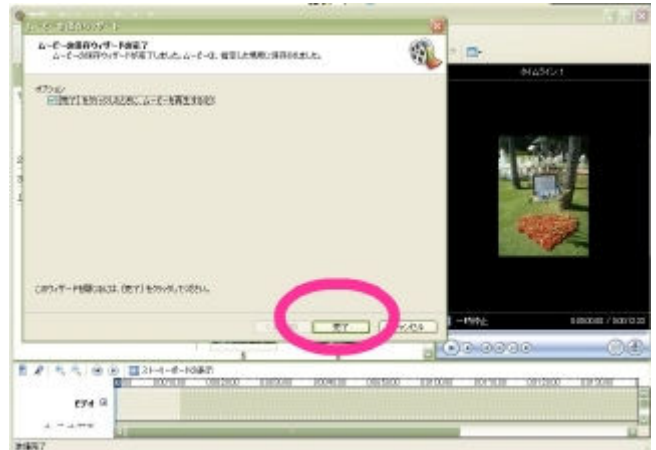



写真 100 枚単位で(2)～(11)の作業を繰り返す

例) 500 年分 (500 枚) の写真なら、100 枚×5 回に分けて 5 本の映像を作る

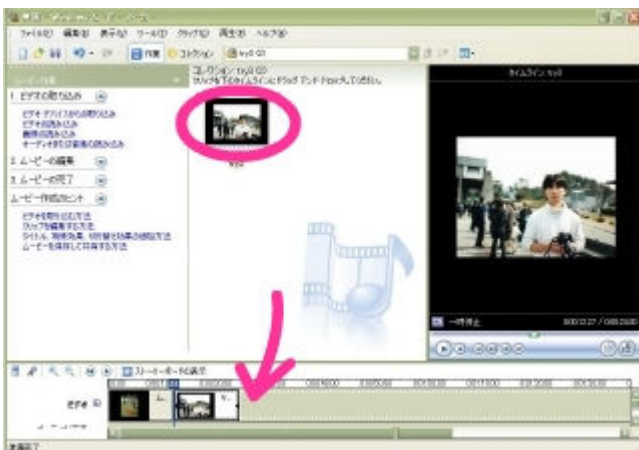
⑤複数の映像を1つにまとめて、音楽ファイルを追加する

*新規プロジェクトで次の作業を始める

使うもの  Windows ムービーメーカー、音楽ファイル
手順

(ア)④で作った映像を、順番にもう一度
ムービーメーカーにドラッグ&ドロップ。さらに
タイムラインまでドラッグ&ドロップ

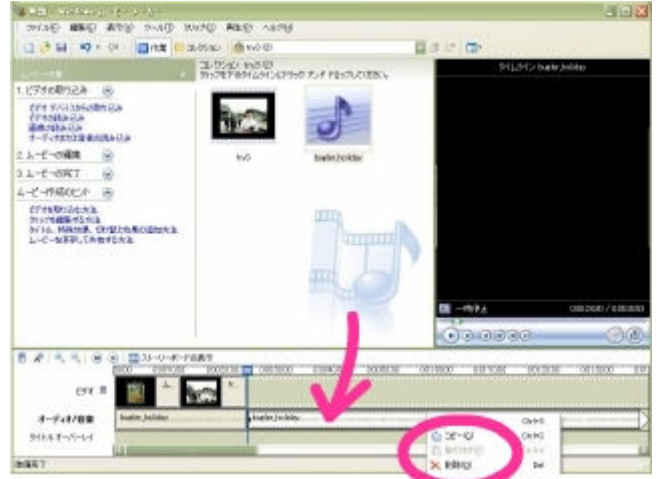
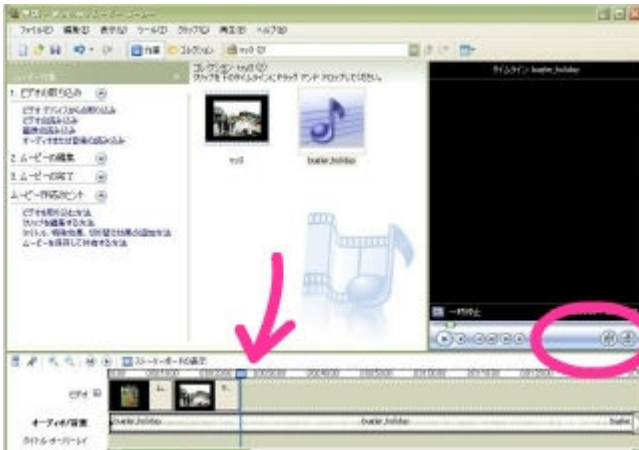
(イ)音楽ファイルも同時にムービーメーカーにドラッグ
&ドロップし、それからタイムラインにもドラッグ
&ドロップする



* 1つの映像をタイムラインまでドロップしてから、
次の映像ファイルを画面にドロップする
** 例示の写真が歴史地図でないのはご容赦を

(ウ)音楽ファイルの演奏時間が長い場合は、映像の長さに合わせて青色の線を移動させた後、画面右端にあるクリップ分割ボタンで余分を切り離す

(エ)音楽クリップが2分割されたので、余り側の部分を削除する



(ア)の工程を繰り返した後、(イ)(ウ)(エ)に進む。最後に④の(6)～(11)で行ったムービーの保存を、同じように行い、一本の映像ファイルにして完成！！お疲れ様でした～。

ポイント 例えば 500 年分 (500 枚) の映像を今回の設定で作ると、1 分ちょっとの映像になる
音楽ファイルを使用して一般に公開する場合は、著作権フリーのものを使う
* Youtube やニコニコ動画への載せ方は割愛

この作り方の覚書は、高校の授業用に準備したものを改変したものです。
(内容のほとんどは、ムービーメーカーのイレギュラーな使い方の説明をしてるだけとも)
もし、作りたいという思いと若干の予算はあるけど、作り方がイマイチ分からない！！
という方には出張でお手伝いします。ご連絡ください。

info@ugoky.com 大村まで